

貝ノ瀬 滋 先生のプロフィール

1948年、北海道生まれ。中央大学卒。
電気通信大学大学院博士後期課程中退。

都内公立学校教諭、東京都教育委員会指導主事、市教育委員会参事等を経て、三鷹市立第四小学校長(1998年4月～2004年10月)、三鷹市教育長(2004年10月～2012年10月)、三鷹市教育委員会委員長(2012年10月～2014年10月)。政策研究大学院大学客員教授(2013年4月～2017年3月)。東京家政大学特任教授(2013年4月～)。



主な役職として、文部科学省中央教育審議会委員(第6期)、全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問(2014年2月～)、教育再生実行会議有識者委員(2013年1月～2016年7月)、東京都教育会会長(2013年6月～)、日本連合教育会副会長(2013年6月～)、文部科学省教育再生実行アドバイザー(2013年12月～2017年3月)、三重県教育委員会教育特別顧問(2015年8月～2017年3月)、文部科学省参与(2016年7月～2017年3月)、文部科学省初等中等教育局視学委員(2017年4月～)、福島県復興教育アドバイザー(2017年4月～)。

校長時代から学校教育ボランティア制度を立ち上げ、学校支援組織としてNPO法人「夢育支援ネットワーク」を設立し、「開かれた学校づくり」を推進する。又、教育長として「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」を市内全校に拡大し、全国から注目される。

主な著書には、「子ども・学校・地域をつなぐコミュニティ・スクール」、「校長の実践経営術 25の鉄則」、「校長の実践対話術 25の鉄則」学事出版。「小・中一貫コミュニティ・スクールのつくりかた」ポプラ社。「図説コミュニティ・スクール入門」一藝社などがある。